

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

協力業者・資材店と良好な関係を築いて環境に配慮した資材・施工法の知識向上に取り組みます。さらに、働きやすい職場環境の整備を推進して人材確保と社員満足度向上を図ることで、地域の生活に欠かせない水道工事業という仕事を将来にわたって持続・継承していきたいと考えます。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	社員の有給休暇取得を促進するため、休暇取得の少ない社員を把握して仕事のスケジュール調整をする。	全社員が有給休暇を年間7日以上取得する。	2024年度達成。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	子育て中の社員が仕事と家庭の両立を図りやすい環境整備の一環として、男性社員にも育休の取得を推奨する。	2023年現在取得者0人のところ、1人以上。	該当者がおらず未達成。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	社屋の断熱性を点検・向上させ、使用電力量を削減する。	1年を通じた使用電力量の2割削減。(2022年度比)	資材価格高騰により断熱工事が進まず未達成。

- ・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

今期は特に働きやすい職場環境作りについて重点的に取り組み、時間単位有給取得制度の導入、年間休日数の20%増加、時間外労働の削減といった実績を上げることができた。また、DXの推進によるペーパーレスの推進、資源ごみのリサイクル活用等により、GXにおいても一定の成果を得ることができた。来期はこれらの取り組みをより深化させ、さらなる職場環境改善による人材確保と、それによる地域社会への安定したインフラ供給に尽力したい。

- ・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地域社会への貢献としてのごみ拾いボランティア活動を実施する。	毎週実施
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	若者の県内就職促進のため、高校生のインターンシップ受入れを行う。	毎年3名以上
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	働きやすい職場環境作りの一環として有給休暇取得を奨励する。	平均有給消化日数10日

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

--

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。